

Japan PBSS Kick-off Event / MEDISO 共催創薬セミナー

がんを対象にした医薬品の 研究開発におけるモダリティ戦略

無料

ハイブリッド(オンサイト/zoom)

2025年**10月25日(土)** 13:00 ~ 18:00

会場: 日本橋ライフサイエンスビル201 (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

形式: ハイブリッド(対面もしくはzoomウェビナー)

参加方法: 事前申込制(無料)

イベント概要・参加申込: <https://www.pbss.org/eventDetails/1019>

登壇者:

低分子、Protein Degradator



海原 浩辰
エーザイ株式会社
DHBL インテグレイティッド
ケミストリー
筑波メディカルケミストリー部
主幹研究員

抗体、二重・多重特異性抗体



堅田 仁
中外製薬株式会社
研究本部バイオ医薬研究部
バイオリジクスエンジニアリング
グループ
グループマネジャー

抗体薬物複合体



上野 傑
ジャフコ グループ株式会社
産学・ライフサイエンス投資
グループ
プリンシパル

遺伝子治療・細胞治療



葛西 義明
Alloy Therapeutics
Japan / Cell Therapies
Chief Scientific Officer

スタートアップの意思決定 (Biotech vs Pharma)



中鉢 知子
TMC Clinical Develop-
ment Consulting, Inc
プレジデント

各モダリティにおける特許戦略の違い



駒谷 剛志
高島国際特許事務所
弁理士

モダリティ間の比較



小林 美保
アーサー・ディ・リトル・
ジャパン株式会社
マネージャー

パネルディスカッション: 各モダリティの使い分けや今後の進展への期待



吉松 賢太郎
(株) 凜研究所 取締役
公益社団法人日本薬学会
常任理事
(株) アークメディスン 監査役
(株) ケイファーマ
サイエンティフィックアドバイザー



小山 隆文
国立がんセンター中央病院
臨床開発推進部門
トランスレーショナルリサーチ
推進部
トランスレーショナルリサーチ
検体管理室 室長 兼任

主催: 一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (<https://www.pbss.org/chapter/Japan>)

共催: MEDISO (<https://mediso.mhlw.go.jp/>)

Japan PBSS Kick-off Event / MEDISO 共催創薬セミナー

がんを対象にした医薬品の 研究開発におけるモダリティ戦略

無料

ハイブリッド(オンサイト/zoom)

タイムテーブル:

No.	Session Topic	Presenter (敬称略)	Time
1	Opening: 挨拶、Japan PBSS紹介、セッション紹介	上村 成章 (Japan PBSS)	13:00- 13:10
2	低分子、Protein Degradar	海原 浩辰 (エーザイ)	13:10 - 13:30
3	抗体、二重・多重特異性抗体	堅田 仁 (中外製薬)	13:30 - 13:50
4	抗体薬物複合体	上野 傑 (JAFCO ; 元第一三共)	13:50 - 14:10
5	遺伝子治療・細胞治療	葛西 義明 (Alloy Therapeutics)	14:10 - 14:30
	Coffee Break & Networking		14:30 - 14:45
6	特別セッション： スタートアップの意思決定 (Biotech vs Pharma)	中鉢 知子 (TMC Clinical Development Consulting ; Japan PBSS)	14:45 - 15:10
7	各モダリティにおける特許戦略の違い	駒谷 剛志 (高島国際特許事務所 ; Japan PBSS)	15:10 - 15:35
8	モダリティ間の比較	小林 美保 (Arthur D. Little)	15:35 - 16:00
9	パネルディスカッション： 各モダリティの使い分けや今後の進展への期待	モデレーター (吉松 賢太郎 [凜研究所 等]) + 演者 (海原 浩辰、堅田 仁、上野 傑、葛西 義明) + 医師 (小山 隆文 [国立がんセンター中央病院])	16:00 - 17:00
10	MEDISO紹介	川上 明彦 (MEDISO)	17:00 - 17:10
11	Closing	村上 貴之 (Japan PBSS)	17:10 - 17:20
	Networking		- 18:00

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (<https://www.pbss.org/chapter/Japan>)

共催：MEDISO (<https://mediso.mhlw.go.jp/>)

Japan PBSSのご紹介



Japan PBSSについて

Japan Pharmaceutical & BioScience Society (Japan PBSS)は、Pharmaceutical & BioScience Society International (PBSS)の日本支部として2025年7月に設立されました。日本の創薬のさらなる発展に寄与することを目的に活動を開始し、10月25日の初回イベントを皮切りに、今後は以下のようなテーマを扱いながら、多様なイベントの開催を予定しています。

- CMCにおける医薬品のモダリティ戦略
- 希少疾患の医薬品の研究開発におけるモダリティ戦略
- アカデミア、バイオテック、製薬企業における事業開発・ライセンシング

Japan PBSSは、創薬に携わる皆様が最先端の知見やトレンドに触れ、分野を越えたつながりを育むことのできる場を提供してまいります。

Japan PBSSの理念

Mission

知の流動化を通じて、創薬を推進する

Vision

日本の創薬を担う人々が世界で輝くために、知の流動を加速し、革新と成長を生み出すプラットフォームとなる

Value

- Pay it forward
経験や知恵を、社会や次世代に還元し合う
- Bridge Boundaries
日本国内の異なるステークホルダーや日本と海外のバイオテックエコシステムをつなぐ架け橋となる

Pharmaceutical & BioScience Society (PBSS) について

PBSSは、2002年に設立されたライフサイエンス分野に特化した非営利団体です。

米国サンフランシスコ・ベイエリアに本部を置き、現在はサンフランシスコ、サンディエゴ、ボストン、シアトル、バンクーバー、韓国、日本の7支部に展開しています。

PBSSでは、医薬品の研究開発に関する最新情報の共有と専門的な研修を目的として、年間30～40件のセミナー、シンポジウム、ワークショップを開催しており、これまでに延べ2万人以上の皆様にご参加いただいています。



サンフランシスコベイエリアのワークショップの様子
(ADC from discovery to development)

今後のPBSS international 開催イベント (オンラインでの参加も可能です)

- 9/27 SF Bay Area
Gene Therapy Challenges and Best Practices: From Discovery to IND and Beyond
(jointly by PBSS and RAPS-SF)
- 10/1 San Diego
Small-Molecule Formulation for Discovery & Early Development
- 10/2-3 Boston
Predicting Human Pharmacokinetics and Doses of Diverse Modalities: The Current State of the Art and Case Studies
- 10/10 SF Bay Area
Pharmacokinetics in Drug Discovery and Development: Fundamentals, Applications and Case Studies
- 10/15 Seattle
Preclinical Development and IND Filing for Antibody Therapeutics: the Nuts, Bolts and Best Practices

過去及び今後のイベントに関する詳細は、以下のリンクよりご確認ください。

<https://www.pbss.org>

問い合わせ先: Japan PBSS 問い合わせ窓口 (info.japan@pbss.org)

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (<https://www.pbss.org/chapter/Japan>)